



Rotary 関ロータリークラブ

2017-18年度国際ロータリーテーマ RI会長 イアンH.S.ライズリー
 『ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
 2017-18年度 関ロータリークラブ会長 テーマ
 『温故(50)知新』 52代会長 後藤信介

■会長 後藤信介 ■副会長 土屋佳久 ■幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第2476回例会 2017年9月26日(火)

「定款・細則の一部改正」について

「新会員スピーチ」奥村敏教さん・山田一成さん



ロータリー：
変化をもたらす

前例会の記録・第2475回 9月12日(火)12:30

「新会員スピーチ」

伊佐治啓司さん・福田春彦さん

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆会長挨拶



本日の卓話者の紹介をさせて頂きます、新会員スピーチという事で、伊佐治啓司さん、福田春彦さんお二人にお願いしています。後程宜しく申し上げます。先々週、第3回タグラグビー講習会には、前日の会場準備から当日早朝からの準備運営を新世代委員会はじめクラブの皆さん本当に有難うございました。お陰様で、来年も開催して欲しいと話があり、2019年のラグビーワールドカップキャンプ地誘致活動の盛り上がりの影響を感じました。さて、話は変わりますが「人の喜びのためにすることが、自分自身に返ってくるという教え」の話ですが、商売の基本は何よりも「お客さんに喜ばれること」というのは誰でもが認める点だと思います。「お客様は神様」の精神はあらゆるビジネスに通じます。この商売の極意を戦国時代に唱えていた武将がいたそうです。誰だかわかるでしょうか？実はそれは、260年におよぶ徳川幕府の礎を築いた徳川家康だったのです。といっても、家康は商売について語ったわけではなく、天下を治める者の心得をこう語ったのです。「もっとも多くの人間を喜ばせた者が、最も大きく栄えるものだ」家康は、統治する土地の民を喜ばせてこそ、君主たる者の資格があると考え、幕府の繁栄を望むなら、何より民の暮らしを考えなくてはならないと家臣達に教えました。時代も立場もまるで違いますが、「人の喜びのために力を尽くしたい」という思いは、今も昔も同じです。もし、抜群の人事

管理能力を持つ家康が現代に生きていたら、実業家として世界的な活躍をしていたかもしれません。ロータリー活動も少しでも多く社会奉仕をする必要が有ると思いますし、クラブ運営も皆さんに喜んで頂ける様進めたいと思います。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 奥村敏教
 会員51名中 34名出席 出席率 69.39%

◎ニコボックス委員会 委員 木村聡
 会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日の卓話は新入会員のスピーチです。伊佐治啓司さん・福田春彦さん楽しいスピーチを期待しております。時間はたっぷり用意してありますのでよろしくお願いします。

杉浦、酒井、長尾、加藤(浩)、三輪、木村、清水(善)、堀部、加藤(照)、尾崎、林(昇)、西本の皆さん・・・本日の新入会員スピーチ、伊佐治さん、福田さんよろしくお願いします。気楽に頑張ってください。

後藤信介さん・・・関ロータリークラブゴルフ会にて、優勝させていただきありがとうございます。

尾崎嘉彦さん・・・バースデーカードをありがとうございました。

西田泰幸さん・・・この度、私の愛妻のバースデーカードをいただきありがとうございます。思いっきり忘れていましたので、助かりました。

◆新会員スピーチ 伊佐治啓司



この度、関ロータリークラブの新入会員として入会させて頂きました伊佐治啓司と申します。このすばらしいクラブの理念と、そこに集う地域の各分野のリーダー及び指導的立場の方々の活動に敬服しますと共に、このクラブの会員になれた事に大変感

謝申し上げます。

私は工作機械の製造に関わる請負業を30年余り営んでおります。他には、金属微粒子元素に一定の働きを記憶させ、それを基にして、環境保全・健康・美容に関する商品の開発を行っております。独立開業支援にも力を入れて参りまして、現在までに十数人の経営者を世に送り出しました。還暦を過ぎてなお新たな取り組みをさせて頂く事となりました。関市内において、自分たちの住まう地域に密着した活動に参加できる機会を頂きました事を嬉しく思っております。とは申しましても私は、9月14日で満62歳を迎えますが、通常の企業活動ではタイヤの年齢で御座いますので如何程の事が出来る訳でも御座いません。クラブの諸先輩方のアドバイスを頂きながら、微力ながら誠実にロータリアンとして恥ずかしくない行為行動に心がけ様と思っております。お恥ずかしながら最近、私は「大きな誤算」という出来事を経験致しました。私は小さな会社を数社持つオーナーでも有りましたので、大組織とのM&Aを計画し実行致しましたところ、相手が詐欺集団であった事から大変な事態が生じました。最終的には相手企業を破産状態に追い込むことが出来、会社更生法の手続きをさせるに至りましたので、当社としては最悪の事態からは免れる事が出来ました。しかし現在も尚、小さな案件では訴訟続行中のものが残っております。この非常事態に至った負の経験は、実体験をした者にしか語り得ない貴重な経験談として、今後、会員の皆様方の中で、事業承継、後継者問題・事業計画などの面からM&Aを計画される方々がいらした場合は、失敗しない。或いは騙されない。或いは最悪の事態に備える。などの為に多少なりともアドバイスと言うか私の負の経験を知っておいて頂く事も有益なのではないかと存じます。いつでもお話させて頂きますので、修羅場体験者の経験談として参考にして下さいませ。人は常に決断を迫られますが、全ての決断は正しかったと信じる事。結果は自分の予想と違ったとしても、その道が正しかったと強く念じる事しております。座右の銘と呼ぶにはいささか幼稚な言葉ですが、私は「明日を信じる心」と「運命は思考の先にあり」を常に心に念じて毎日を生きております。新入会員として、クラブ会員の皆様のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

◆新会員スピーチ 福田春彦



こんにちはFUKUTA TIRE 福田春彦です。自分のことを話させていただきます。1967年6月26日 岐阜県関市に三人兄弟の末っ子として生まれ、甘やかされて育ちました。たとえば欲しいミニカーがあれば買ってもらうまで泣いて動かない、典型的な甘えん坊でした。その

頃から車・バイクに興味を持ち、オモチャも車関係の

物が多かったです。当時4歳から旭ヶ丘幼稚園に入園7歳で富岡小学校に入学し近くの同級生や幼なじみで山に登ったり近くの津保川で遊びほうけて勉強はその頃から全然しないまま6年間で過ぎ、13歳で旭ヶ丘中学に入学し部活は逃げ足が早かった事も有り陸上部に入部し、1年生の頃は真面目に学業に勤しんでいましたが、2年生になると、友達が良かったのか悪かったのか、この頃は不真面目で夜塾へ行くと言いつ遊んでいました。その反面勤労青年で、早朝は新聞配達をして中学3年生3学期までは続けました。高校は関商工の定時制に入学しました。昼間は子供の頃から好きな自動車関係に就職し、夜は高校に通い、卒業後は、別の自動車関係の仕事に就き、プライベートではレースにハマリ日曜日には、鈴鹿、富士、岡山サーキットに行つて活動していました。しかし、レース業界では厳しく2年間でレース活動を辞めて、タイヤ販売の社長に声をかけて頂き、タイヤ販売の会社に就職し、約12年間勤めさせて頂きました。自分でお店をやりたいと思う気持ちが強くその会社を36歳で退社しました。普通で有ればお店を開業したいのですが、資金不足などの問題もあり、そこで無い知恵を絞り、考えた結果、店舗を持たない販売の仕方トラックにタイヤ交換の道具を一式乗せて大型車両のタイヤを現地で交換修理、乗用車のタイヤ出張式販売をしてユーザーを獲得してきました。乗用車のタイヤの集客率も高めるために店舗を作り平成21年6月、念願のFUKUTA TIREを開店しました。お客様に愛されるタイヤ屋をめざし、良いものが安い、作業が上手い、時間を掛けない(安い上手い早い)をモットーとし、大きな自分の課題である関市で一番のタイヤ屋を目指しています。又、自分のスキルを上げる為に2年前から船舶免許 大型特殊免許 来年の予定では移動式クレーンと玉掛けを習得しようと思っています。今回、縁が有つて関ロータリークラブに入会させて頂きました。微力ではございますが、地域貢献をしていきたいと思ひます。

◆幹事報告

◎東海北陸道グループ IMのご案内

日時：11月12日(日) 11:00

場所：JAめぐみの本店

◎例会終了後「理事、役員会」開催

次例会のご案内 10月3日(火) 12:30

出席表彰・健康診断

担当：出席委員会

例会：毎週火曜日 12:30

例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F